

2013年度 成果報告書



ティーンがまちをつくる

特命 子ども 地域アクタープロジェクト



子どもと大人がともに地域に参画しあう 社会基盤構築を目指して

「特命子ども地域アクター」とは、「特命」でまちづくりの現場に派遣され、課題をかかえるまちづくり団体で活躍する青少年たちです。

公募であつまった青少年たちが、まちづくりのいろは講座を受講し、まちづくり団体（公募）とお見合いをし、「特命子ども地域アクター」として一定期間まちづくりの現場で企画から社会参画するプロジェクトです。

地域のまちづくりに青少年たちが当たり前に参加できるような基盤をつくりたい、そのことが、まちにも、青少年にも、プラスになっていく、という理念で2年間試行錯誤してきました。

この事業は神奈川県との協働事業「新しい公共の場作り事業」としてスタートし、2012年には、26名の特命子ども地域アクターが19の団体に派遣され、2013年には、18名の特命子ども地域アクターが10の団体で活躍しました。

【かながわ子どもの地域社会参画推進会議】

NPO法人ミニシティ・プラス（事務局）	----->	問合せ：minicityplus@gmail.com
神奈川県県民局青少年部青少年課		Tel&Fax 045-306-9004
NPO法人横浜プランナーズネットワーク		224-0001
NPO法人アクションポート横浜		横浜市都筑区中川1-4-1-107
NPO法人シャーロックホームズ		
リスト株式会社		



1. 事業の概要

～成果発表会でのパワーポイントから

2. 事業の概要

(1) 全体スケジュールの振り返り

(2) 特命子ども地域アクター募集について

(3) まちづくりのいろは講座（最初の説明会含む）について

(4) まちづくり団体について；募集とお見合い会・交流会

(5) 10 団体への派遣の報告

(6) 成果報告フォーラムの概要

(7) 特命子ども地域アクター活動全記録

* 成果発表会チラシ

3. 特命子ども地域アクター成果発表会 記録

(2013/12/15 神奈川県庁本庁舎 大会議場)

【資料】

* 特命子ども地域アクター募集チラシ

* まちづくりのいろは講座レジュメ



特命子ども地域アクタープロジェクト 事業概要

子どもと大人がともに地域に参画し合う社会基盤構築を目指して

かながわ子どもの地域社会参画推進会議
NPO法人ミニシティ・プラス 理事長
三輪 律江



ティーンがまちをつくる
特命 子ども 地域アクター プロジェクト

青少年と社会参加をとりまく現状と課題

(平成22・23年期神奈川県青少年問題協議会での議論から)

子ども



本来、自由で主体性をもった子どもたちのはずなのに…

家、学校、塾だけを行き来するだけの「**専門子ども**」が増え、多様な人とのコミュニケーションが取れていない。

地域の中で遊んだり、暮らしたりできていない。

主体的でない、社会性がない

→ **ニートひきこもりの問題**

→ **青少年の社会参画の取り組みが必要**

地域

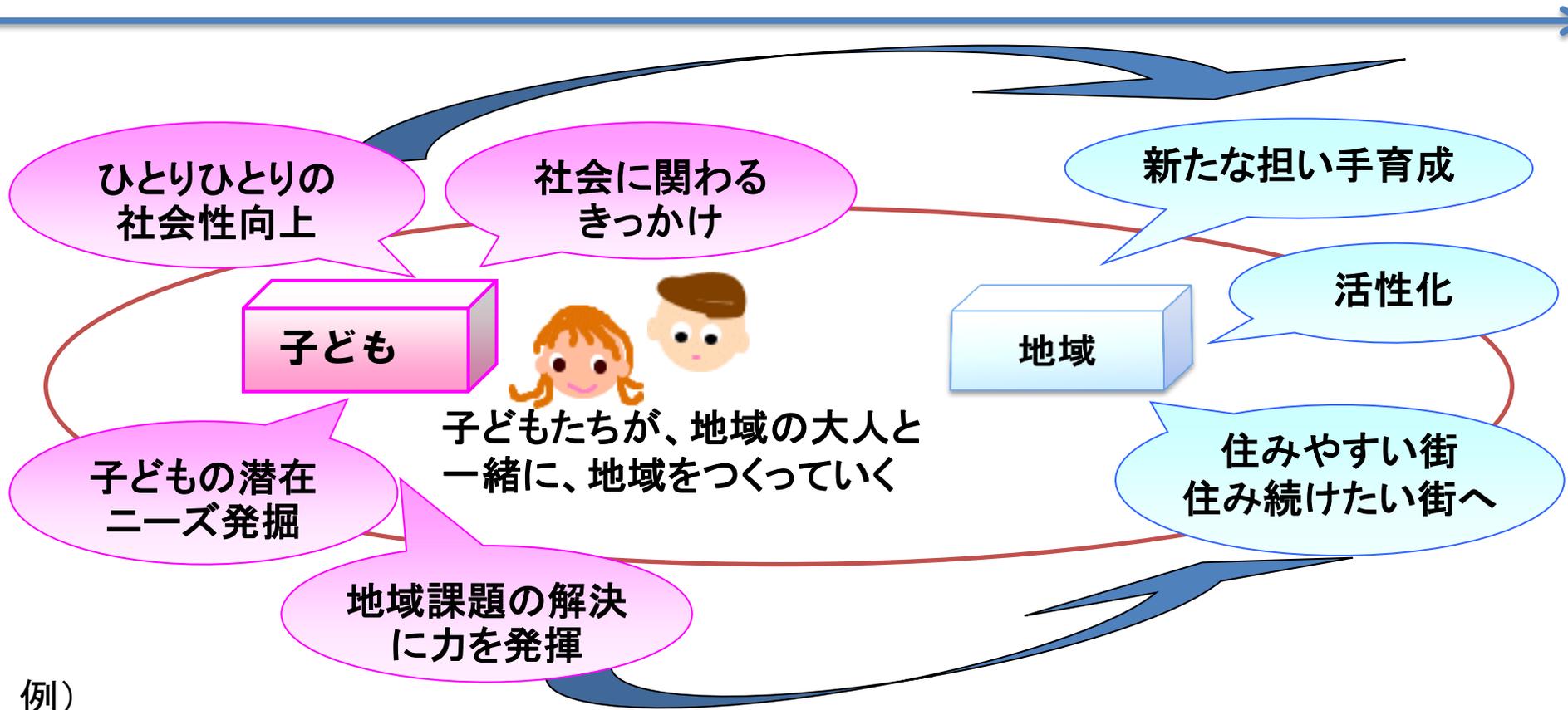
自治会町内会、公園愛護会、地域活動、ボランティア団体の**まちづくり団体の高齢化、固定化**

子どもたちが関わるときには「お客さま」のように扱い、「若い労力」(設営の労力等)、**子どもたちが、「参加」に留まり、まちづくりに「参画」できていない**

そのため、満足度が低く、**地域活動に定着する、次世代育成ができていない。**

地域まちづくり団体と、まちに必要な青少年を結びつける現場を作る必要がある

青少年と社会参加の目指す姿



例)

- ・自治会町内会主催の防災訓練に企画会議から参加
- ・地元のイベント、お祭りなどへの子どもたちの企画提案実施 → 子どもたちが参加したいものになり活性化していく
- ・地域まちづくり協議会などに委員として参加 → 子どもの視点からの意見を聞くことができる
- ・公共施設の運営委員会などの一員として参加 → 地域のまちづくりで、将来の重要なアクターとなっていく

平成23・24年度「新しい公共の場づくりモデル事業」実施

23年度

1. 「特命子ども地域アクター」の養成・派遣

- ・子ども会議の定期開催
- ・まちづくりのいろは講座
まちづくり現場への派遣



24年度



2. 「子ども地域社会参画フォーラム」の開催

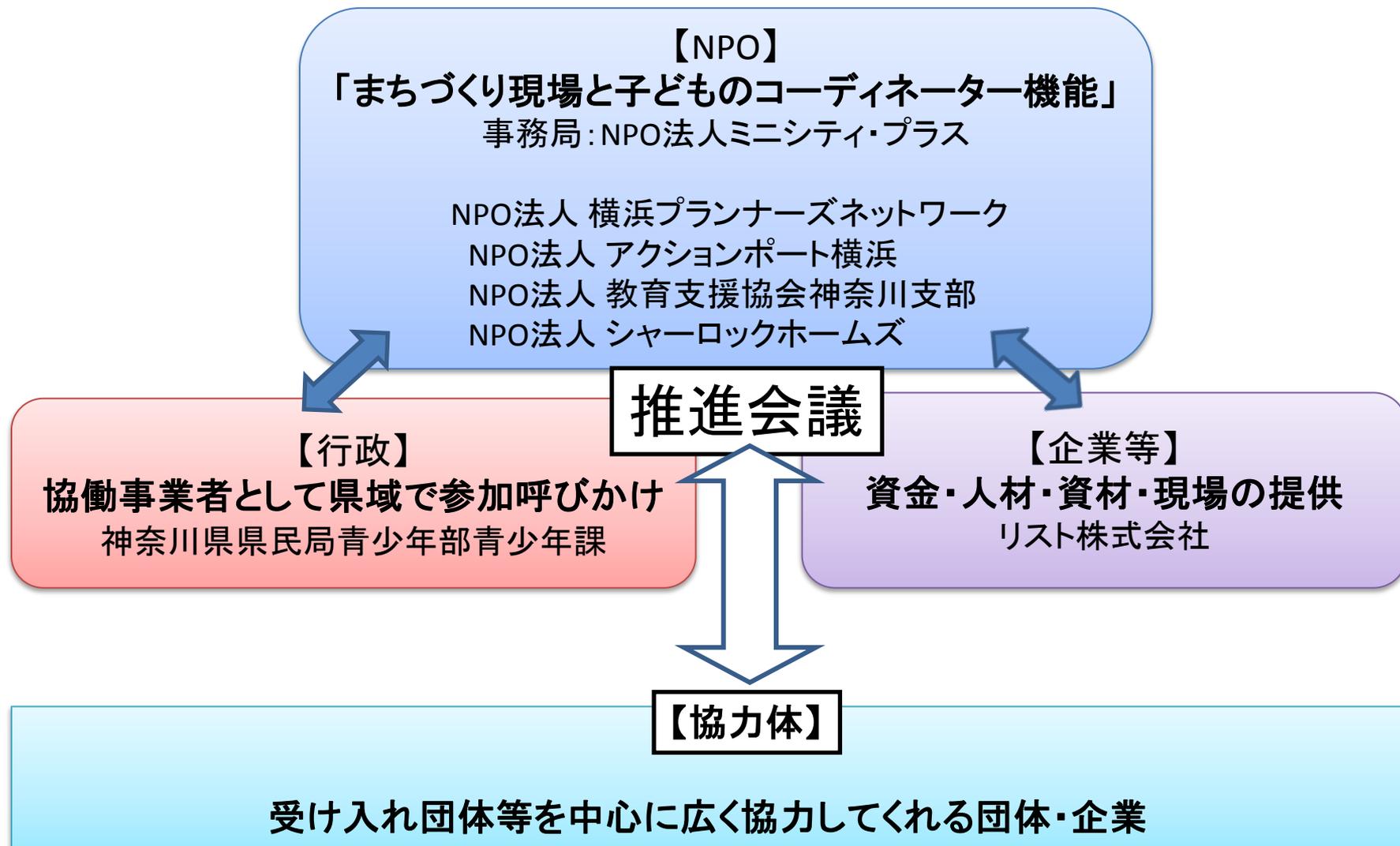
県内の地域まちづくり活動の担い手
青少年支援団体への発信



平成25年度も、事業を継続実施

青少年の社会参加(参画)を促進、支える体制

事業主体となる会議体(「かながわ子どもの地域社会参画推進会」)及び、協力体を設置



平成25年度 事業フレーム



1. 「特命子ども地域アクター」及び、派遣先団体の募集

- ・特命子ども地域アクターの募集
- ・派遣先団体の募集

2. 「特命子ども地域アクター」の養成・派遣

- ・まちづくり「いろは講座」開催
- ・「お見合い会」を経て、派遣先を決定
- ・特命子ども地域アクターの会議・現場派遣

3. 「成果発表会」の開催

- ・12月15日成果発表

1.「特命子ども地域アクター」及び派遣先団体の募集

ティーンがまちづくり
特命子ども地域アクタープロジェクト
特命子ども地域アクター募集
応募締切 2013年6月20日(木) 当日締め有り

★応募の要件

- ・対象は、中学生、高校生を中心に、意欲のある小学校高学年、ひとりで参加できる神奈川県在住、在学の方。会議は横浜市内で行いますので、そこまで来ることができる人が対象になります。
- ・募集は30名程度。応募者多数の場合は、原則、電話等でヒアリングし、先着順とします。
- ・6月～7月に行われる「まちづくりのいろは講座」に出席でき、12月の発表会まで参加できることが条件です。(おおよそのスケジュールは下記を参照)
- ・会議、講座の交通費については、支給されます。まちづくり活動への派遣の交通費等に関しては、団体との調整で決定します。

あおよそのスケジュール

6月～7月：説明会、まちづくりのいろは講座(横浜市立大学連携講座)、まちづくり団体とのお見合い会
場所：三ツノ町創造センター(みつの町1-10 電車道駅上)

6月22日(土) 午後 説明会&まちづくりのいろは講座1日目
7月 6日(土) 午後 まちづくりのいろは講座2日目
7月15日(月-祝) 終日 まちづくりのいろは講座3日目
&まちづくり団体とのお見合い会

8月～11月：まちづくり団体への派遣
9月、11月に子ども会議回ずつ開催
12月：成果発表会

★問合せ・応募先★
かながわ子どもの地域社会参画推進会議
事務局 NPO法人ミニシティ・プラス
〒224-0001横浜市都筑区中川1-4-1411
Tel&fax (045)306-9004(月～金9時～17時)
メールアドレスminicityplus@gmail.com

楽しく安心して参加できる環境があったとてためになった
アクターをやったら大人と対等に話せるようになった

単なるボランティアとアクターは全然違うおもしろくかかれた
大人のひとと一緒にのまちづくりは楽しい!

- 最終参加人数 18人(小5～高3)
- メンバー構成
 - 中心は中高生。
 - ただし、一人で行動できる意欲的な小学生高学年も応募

- 派遣先10団体
- 横浜－9団体、足柄－1団体

新規 10団体程度募集
子ども力をまちづくりに活かそう!!
特命子ども地域アクター受け入れ団体募集
応募締切 2013年6月20日(木) 当日締め有り

★応募の要件
まちづくりをしている、格段名が関わる組織的な団体、法人格は問いません、企業でもOKです。活動に参加する子どもたちの交通費が出せること。(交通費が出せなくても子どもが派遣を希望することがあるので、事務局にて相談ください)
所定の用紙に記入の上、事務局までメールまたはFAXでお送りください。用紙は#4からダウンロードできます。 <http://actor.minicity-plus.jp/>

子どもたちが活動に入った
新たな発見があった

子どもたちのイベントの
企画は子どもたちに入ってもらいたい

★受け入れ団体の声

こんな目的でこんなふうにやっています

「特命子ども地域アクタープロジェクト」とは、意欲ある青少年に、大人が主体で行なっているまちづくりの現場へ「特命」で行ってもらい、ティーンの特長、アイデアや発想、行動力を実際に活かす事業です。公募で集まったティーンたちは「特命子ども地域アクター」となるために、「まちづくりのいろは講座」を履修し、定額の子どもの旅費をしながら、「まちづくり団体」の活動に派遣されます。

子どもたちにとっては、新しい視点でイベントや運営などができます。また、次世代の新たな担い手の育成にもなります。

「神奈川県議会」公員の協力の賜りのためモデル事業に選ばれる。24年実行予定の「神奈川県子ども地域アクター養成アクション」を今年も実施します。(該年の実績は申請をご覧ください)

NPO法人 ミニシティ・プラス (事務局)
神奈川県 足柄下郡 湯浅町 湯浅
NPO法人 横浜アクターズ・ネットワーク
NPO法人 アクトリオン・横浜
NPO法人 シー・リンク・キッズ
NPO法人 社会力

協力 横浜女子大学 地域社会参画推進部
神奈川県 足柄下郡 湯浅町 湯浅

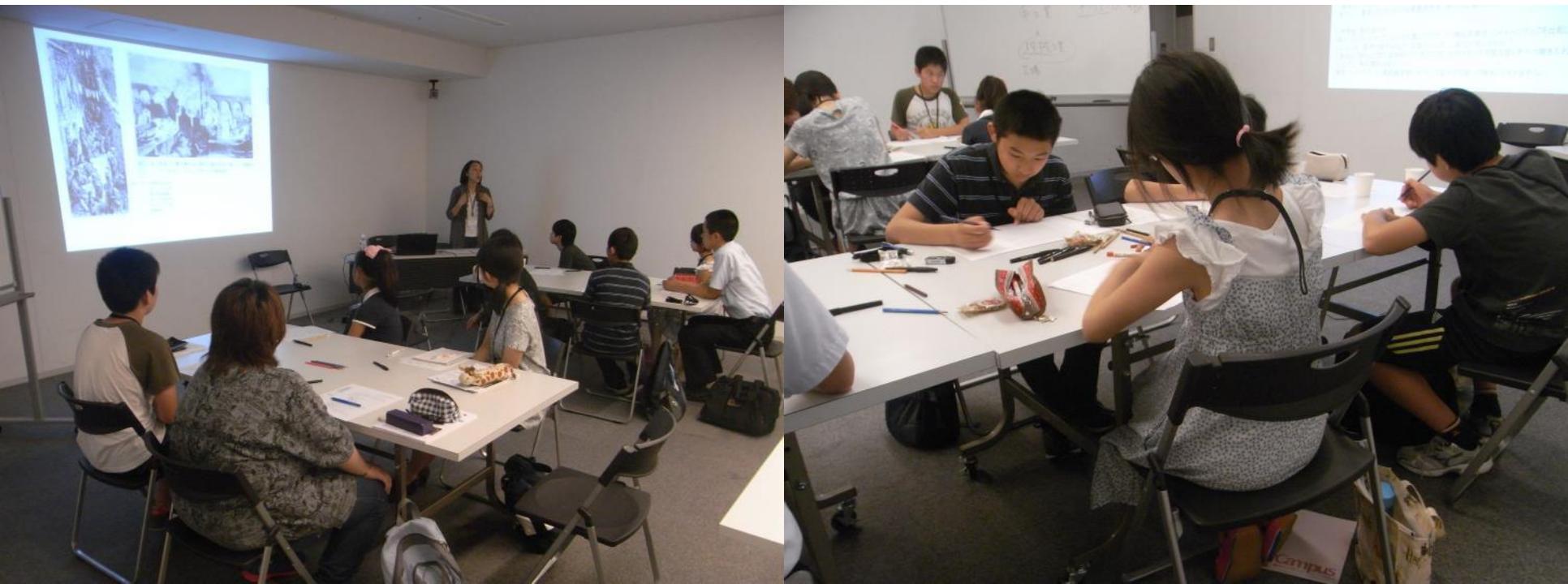
2. 「特命子ども地域アクター」の養成と派遣

特命子ども地域アクターとして派遣するための基礎教養として、
まちづくりの「いろは講座」を

横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース、
ヨコハマ創造都市スクールとの共催で実施

まちづくりのいろは講座ー1

6月22日(土) 都市づくり・まちづくり・ひとづくり



2. 「特命子ども地域アクター」の養成と派遣

講座一2 7月6日(土) まちづくりの現場を歩こう
横浜市大教員4名による定点解説



2. 「特命子ども地域アクター」の養成と派遣

まちづくりのいろは講座－3

7月6日(土)

これからのまちづくりを考えよう

ワークショップ: まちをあるいて気づいた横浜のまち

講義 「関内・関外のまちづくり」

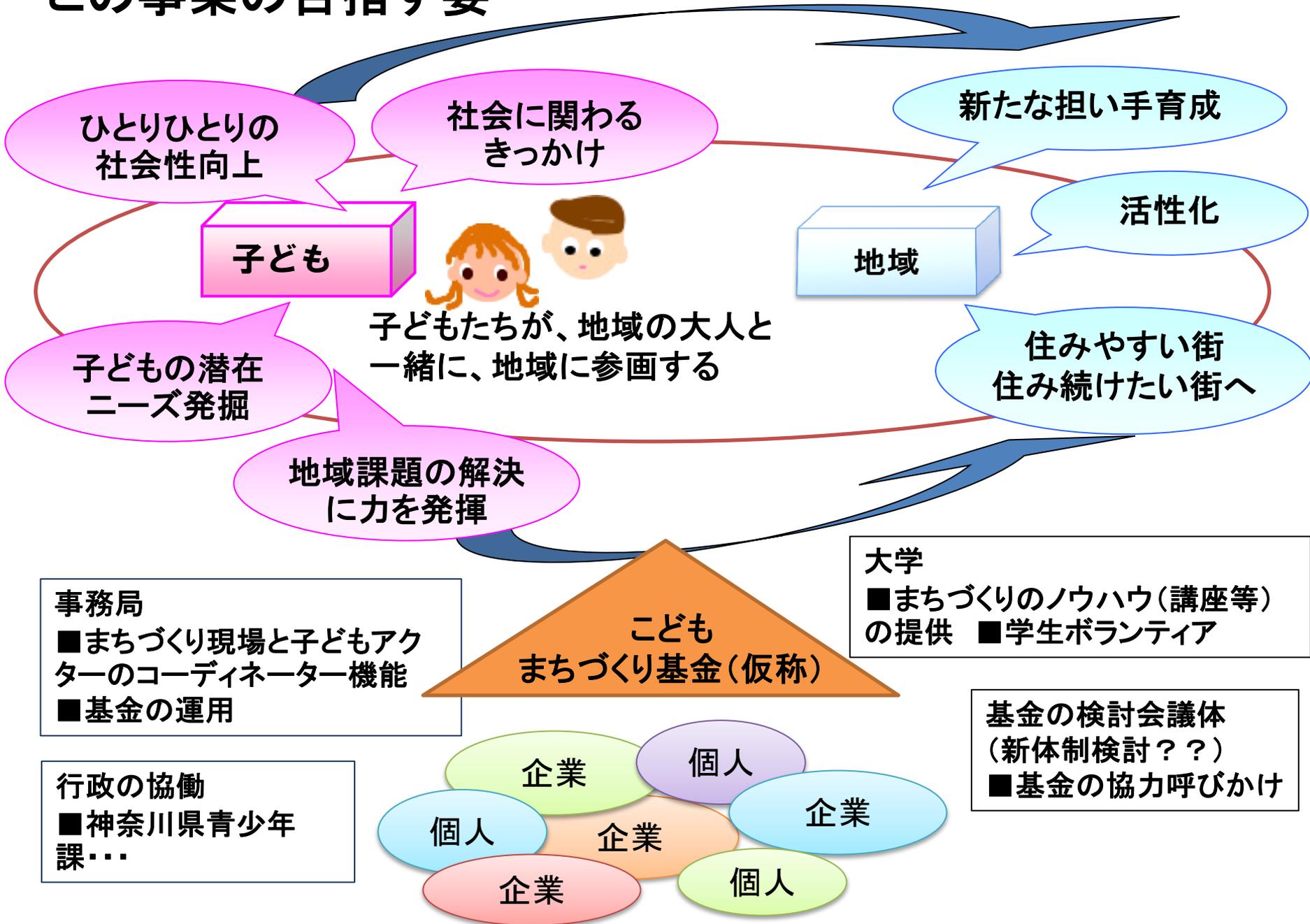


2. 「特命子ども地域アクター」の養成と派遣

- 7月15日子どもアクターとお見合い会（顔合わせ）
19名の子どもアクターの興味関心等のヒアリングから
全10応募団体とのマッチング作業
- そして、
現場へ派遣！！



この事業の目指す姿



ひとりひとりの
社会性向上

社会に関わる
きっかけ

新たな担い手育成

活性化

子ども

地域

子どもたちが、地域の大人と
一緒に、地域に参画する

子どもの潜在
ニーズ発掘

住みやすい街
住み続けたい街へ

地域課題の解決
に力を発揮

事務局

- まちづくり現場と子どもアクターのコーディネーター機能
- 基金の運用

行政の協働

- 神奈川県青少年課...

こども
まちづくり基金(仮称)

大学

- まちづくりのノウハウ(講座等)の提供
- 学生ボランティア

- 基金の検討会議体
(新体制検討??)
- 基金の協力呼びかけ

企業

個人

個人

企業

企業

企業

個人

2. 事業の概要

(1) 全体スケジュールの振り返り

日程(2013年)		会議・その他	日程	団体への派遣
3月	17日	1期アクター最終会議、次年度アクター募集開始		
6月	20日	アクター募集締切		
	22日	アクター説明会&まちづくりのいろは講座(1)		
7月	6日	まちづくりのいろは講座(2)		
7月	15日	まちづくりのいろは講座(3)&団体とのお見合い会		
8月			1日	中川ルネッサンスPJ、MT
			3日	シャーロックホームズMT
			7日	神奈川フィルハーモニーMT
			8日	港北ライフ&シニアMT
			10日	夢キューブ下見&講座参加
			17日	I Love つづき打ち水大作戦参加&MT
			20日	都筑民家園MT
			21日	えだきん商店街下見&MT
			22日	都筑クラブMT
			24日	シャーロック・ホームズイベント本番
			24日	中川ルネッサンスPJ、MT
			27日	みなとみらいMT-1
			29日	みなとみらいMT-2
			31日	港北ライフ&シニアMT-2
9月			10日	神奈川フィルハーモニーMT-2
			11日	都筑クラブMT-2
			21日	神奈川フィルハーモニーイベント準備
			22日	都筑民家園イベント準備
			28日	港北ライフ&シニアイベント本番
			29日	みなとみらいMT-3(象の鼻)
10月			3日	神奈川フィルハーモニーMT-3
			12日	神奈川フィルコンサート本番
			13日	夢キューブMT-2
			14日	都筑民家園アートイベント本番
			19日	元気カーニバル本番
			31日	えだきんハロウィンイベント本番
11月			9日	みなとみらいクロニクル本番
			9日	中川ルネッサンス、アンケート調査
			9日	I Love つづきビジュアルコンサート本番
			23日	夢キューブ本番
	24日	アクター成果発表会準備会議		
12月	15日	成果発表会		

(2) 特命子ども地域アクター募集について

3月17日から6月22日までに、19名の応募者があり、推進会議メンバーに、全員特命子ども地域アクターとして承認された。活動の途中で、1名辞退があり、最終的には18名が成果発表会まで参加した。その中で、昨年から引き続き参加したアクターは、9名。

*参考資料:アクター募集チラシ

(3) まちづくりのいろは講座(最初の説明会含む)について



① 6月22日(土)13時半～16時

まちづくりとはなにか～都市づくり・まちづくり・ひとづくり～

場所:ヨコハマ創造都市センター地下1階

13時半～14時 アクター事業の説明・入学式

14時～15時 講座「まちづくりとはなにか？」

15時～16時 ワークショップ「イメージマップから記憶に残るまちを考える」

講師:横浜市立大学 まちづくりコース 三輪律江

*ワークショップでは自分の住んでいる家と学校とのイメージマップを書いてもらい、それをもとに記憶に残っているまちの要素などについて意見出しと理解を深める。

参加9人

② 7月6日(土)13時～17時

「まちづくりの現場を歩こう」

場所:馬車道～関内～日本大通り～山下公園～マリンタワー

講師:横浜市立大学 まちづくりコース教員4名

参加15人

*横浜市立大学まちづくりコース2年生の授業で行われる45名(7～8人×6グループ)のまちあるきと同行し、普段とは違った視点で、関内～馬車道といった開港のまちヨコハマを巡った。



③ 7月15日(月・祝)13時～17時

これからのまちづくりを考えよう

場所:ヨコハマ創造都市センター3階

講師:横浜市立大学 まちづくりコース 鈴木伸治

参加13人



13時～13時半 ワークショップ「まちを歩いて気づいたヨコハマのまち」

14時～14時半 講座「関内・関外のまちづくり」

14時45分～17時 まちづくり現場とのお見合い会

*ワークショップでは、7月6日に歩いた印象をもとに大地図上に評価をプロット。それとともに後半の講座を進めた。

*参考資料 講座レジュメ等

(4) まちづくり団体について;募集とお見合い会・交流会

① 参加団体の募集(募集期間:)

アクターの派遣先となる、まちづくりの現場の団体募集は特命子ども地域アクターの募集と同時の3月17日から行った。以下の10団体から申込があり、お見合い会に臨んだ。

	団体名・所在地 活動場所	具体的依頼内容と日程	団体の活動内容
1	NPO法人 Love つづき 所在地:横浜市都筑区 活動場所:同上	8月17日打ち水大作戦、9月15日の地藏まつりとキャンドルナイトイベントでの企画参加。	まちの環境調査からはじまり、まちを知り、まちが元気になる活動ならどんなジャンルでも行動しています。 <u>こどもたちとのサバイバルキャンプ</u> 、 <u>地域の人たちとの連携による打ち水、キャンドルナイトイベント</u> 、 <u>ICTの力を使ったまちの情報化支援</u> (ホームページをつくってあげる支援や、自主ホームページによる、まちの情報の発信など)、 <u>福祉作業所の製品のプロデュース</u> など。
2	荏田南近隣センター商店会 所在地:横浜市都筑区 活動場所:えだきん商店街	10月31日のハロウィンイベントで子どもたちを集める企画をやってほしい。	駅が近くはない都筑区の住宅地の中にある商店街を活性化して欲しい。イベントやお祭りだけでなく、商店街にこどもたちがくる仕掛けについて考えて欲しい。
3	一般社団法人 横浜みなとみらい21 所在地:横浜市西区 活動場所:MM21グランモール公園	30周年イベントのための企画の検討。	<u>横浜みなとみらい21地区のビルや企業がお互いに協定を結び、賑やかでたくさん人が集まり、美しいまちをつくるために</u> 様々な活動をしています。
4	都筑クラブ 所在地:横浜市都筑区	10月19日センター南のスキップ広場で行う「区民交流 元気カーニバル」	都筑区を中心に、文化活動を通したまちづくり。区民祭りなどでのステージイベントなどを主に担当しています。
5	NPO 法人夢キューブ 所在地:足柄	ASHIGARA アートフェス期間中の活性化をお願いしたい。	ASHIGARA アートフェスティバルで、アートをつかったまちづくりを行う予定です。たとえばシャッター商店街でのアート応援、手作り品ショップ運営など「こどもアート事業」で参加して欲しいと考えています。
6	NPO 法人都筑民家園管理運営委員会 所在地:横浜市都筑区 活動場所:センター北駅の大塚歳勝土遺跡公園内民家園とその周辺	こどもたちが参加できるアートイベントの企画運営。 10月14日日本番、雨天時 11月4日(祝)	横浜市都筑区の大塚・歳勝土遺跡公園内にある、江戸時代の建物を復元した古民家を使い、多くの地域交流イベントや文化事業を行っています。秋にはアーティストを招いて、民家園を使ったアートイベントを行います。 昨年同様のキット弓矢体験と、竹楽器による演奏会、楽器づくりワークショップ。

7	中川ルネッサンスプロジェクト 所在地: 横浜市都筑区 活動場所: 都筑区中川	毎月開催している、NRPの会議に同席し、広報の方法や企画のアイデア出し等。	中川駅周辺(商店街、緑道等)の活性化のため、中川の商店街、大学、NPO 等がネットワークを作りまち普請事業を獲得しました。中川のまちの活性化のため動いています。そこに子どもたちの参画も欲しいと思っています。
8	神奈川フィルハーモニー管弦楽団 企画事業部	10月12日(土)室内楽のコンサートのプロデュース 8月中旬に、企画に係わる団体と一緒に打合せを行う。	神奈川フィルハーモニー管弦楽団は、年間を通してたくさんのコンサートを行っています。内容は子どもたちにも十分楽しめるもので、ぜひ多くの方たちに来てほしいと思います。のようでしたら、もっとコンサートに足を運んでもらい、神奈川フィルハーモニー管弦楽団を応援してくれる人たちが増えるのかについて、考えて欲しいと思います。
9	ライフ&シニアハウス港北	8月25日に老人ホームと保育園が併設している施設で行う、イベントの企画参加。	老人ホーム、保育園を運営している法人です。地域の方たちとシニアの方たちとの交流を考えていますが、なかなか進みません。入居しているシニアの方たちが、外に出て外の人とつながろうとしない、もっと地域の人たちに気軽に参加してもらいたいと考えています。こどもたちとシニアのコラボでなにか企画してもらい、お年寄りを元気に地域と交流できるしかけをつくってほしい。
10	NPO 法人シャーロックホームズ 所在地: 横浜市西区	女性のココロとカラダをテーマにしたイベントへの親子向けブース出展の企画・運営 8月24日、25日 場所: 日本大通り	横浜市西区で主に3歳までの親子が過ごす広場や、小学校の空き教室を利用した放課後キッズクラブなど、子どもが過ごす「居場所」を大切にする事業をしています。また、「居場所」へ来れない人たちへメルマガやフリーペーパーなどを活用して情報を届ける事業にも取り組み、情報を提供するだけでなくリアルで会える「場」づくりのためのイベントも行っています。

② お見合い会・交流会

7月15日(月・祝)

場所: 14時45分～17時(ヨコハマ創造都市センター)

まちづくり団体 10 団体と、特命子ども地域アクター19 名(この日の出席は 13 名)とのお見合い会を開催した。まちづくり団体からの団体紹介、事業説明後、子どもたちが各ブースを回って個別に説明を聞き、質問する時間をとった。その後、子どもたちには、第1希望～第3希望までを提出してもらった。上記のお見合い会をやむを得ず欠席したアクター3名に対し、資料を送付した上で、電話にて説明を行い、派遣先の希望をとった。

その後、特命子ども地域アクターの希望とまちづくり現場とのマッチングを行い、推進会議に諮り、10 団体に派遣されるアクターが決定した。



(5) 10団体への派遣の報告

① NPO法人 Love つづき

アクター: 森本大樹、鈴木海、和田峻也、川口彩夏、矢野颯人

ミッション: 環境について考え、行動する人たちを増やすための、地域でのイベント企画の提案と実行



◆8月17日

事前打ち合わせとイベント「打ち水大作戦」のお手伝い。
キャンドルの並べ方、イベントについて打ち合わせ。

◆9月15日

キャンドルナイト&ビジュアルコンサートを予定していたが、台風のためイベント中止。

◆11月9日

9月15日のリベンジで、小規模にはなったが、ビジュアルコンサートを行った。しかし、当初参加していたアクター5名のうち、2名しか参加できず、他のアクターにも呼びかけたところ、プラス3名の参加があった。天候に左右されるイベントの難しさを実感した。

② 桂田南近隣センター商店会

アクター: 百崎佑、直枝遼葉、高崎基

ミッション: ハロウィンイベントを中心として商店街に子どもたちがくる仕掛け

子どもアクター2名参加

◆8月21日

商店街おまつりの日に下見を兼ねて、MT。しかしハロウィンイベントが時間がかなりはやく、イベント自体に参加できる人はとても少ないことがわかった。そこでミッションのために、なにか他にできることがないかを考えることとなった。百崎くんがハロウィンイベントのチラシ作成を担当した。

◆10月31日

ハロウィンイベント本番。直枝くんのみ参加可能だったため、受付などを手伝った。参加したことからわかったことをまとめることに。そのほか、商店街の新聞づくりをしてはどうかなどの意見がでたが、なかなか調整が進まず、成果発表会までにつくることができなかった。商店会という組織単位だと意識合意に時間がかかることを実感した。直枝くん感想「ハロウィンにはいつも以上に子どもたちと保護者の方たちが溢れていた。商店街のよさを知ってもらうチャンスなのでお店のPRをもっとしたほうが良いと思った。お店の人たちはイベントにかかりきりで自分たちのお店のPRができていないように見えた。



③ 一般社団法人横浜みなとみらい21

アクター：諸岡美咲、花岡 直幸、矢野淳奈、黒山幹太、石井真央

ミッション：みなとみらいエリアは商業地区のため、こどもがこのまちに暮らすことを想定していなかったが、最近マンションにこどものいる世帯が多く住むようになった。それらのことから、こどもの視点から、催事を子どもたちにも参加しやすい良い方法にするためのアイデアが欲しい。



◆8月27日&29日

事前打ち合わせ。アクター全員の都合が合わなかったため、同じ内容を2回に分けて行った。みなとみらい地区が30周年を迎え、その記念イベントの企画に工夫をプラスすることとなった。

◆9月29日

30周年記念のクロニクルという光のイベントで、小さな光のオブジェを作成した参加者に記念の写真をとって、その場でプリントしてプレゼントすることになった。当日運営している、美大の学生との打ち合わせの機会を持った。

◆11月9日

光のイベント当日。アクター4名が役割分担し、PRしたり、写真をとってプリントしたり。イベントのPRをせいいっぱい行った。かなりきちんと用意したが、寒くて参加者が少なかった。

④ 都筑クラブ

アクター：百崎佑、直枝遼菜、黒山幹太、川本森也

ミッション：大人からこどもまで多くの区民が交流するイベントに成長してきた「元気カーニバル」の企画にこどもたちのアイデアを取り入れて、ステージイベントを盛り上げたい。



◆8月22日

事前打ち合わせでのアイデア出し。盆踊りをするということで、櫓があったほうがいいという意見がでた。予算が出るか検討され、実施することに。またチラシ作成をアクターが請け負うことになった。

◆9月11日

再度打ち合わせ。とてもいいチラシが完成した。アクターのアイデアで近隣の老人ホーム等に招待を出すことになった。当日は、まちに欲しい文化施設は？というアンケートを行うことになった。また、来年20周年に都筑区のイメージソングをつくってはどうか？と歌詞のヒントとなるものを集めることになった。

◆10月19日

当日は準備、イベント時のお手伝いを行ったり、来場者にアンケートをおこなったり、盆踊りのときには櫓の上に乗って、司会進行を務めるなどした。

⑤ NPO 法人夢キューブ

ミッション: ASHIGARA アートフェスティバルをきっかけにした、まちの活性化。

アクター: 加治満理奈、直枝遼菜



◆8月10日

現場になる会場の下見。第2回あしがらアート学びの場の勉強会に参加。

◆10月13日

夢キューブの高橋さんに横浜に来てもらい、11月23日のイベントの説明をもらった。アクターがチラシを作成することに。チラシ作成のやりとりはメールで行った。

◆11月23日

イベント当日は、受付や裏方のお手伝いを積極的に行った。

⑥ NPO 法人都筑民家園管理運営委員会

ミッション: 若い感覚の企画アイデアと当日のボランティア支援

アクター: 森本大樹、高崎基、鈴木海、和田峻也



◆8月20日

10月14日のアート月間でのキッズ弓矢体験を昨年もアクターが行ったが、雨天順延でうまくいかなかった。そのリベンジをしたいというスタートだった。

◆9月22日

キッズ弓矢体験の弓矢を竹でつくる作業をした。

◆10月14日

当日は快晴で、子どもたちがたくさん集まった。受付や弓矢体験の説明、記念写真撮影などを行った。

⑦ 中川ルネッサンスプロジェクト

ミッション: 子どもの目からみた実のある計画づくりのため、子どもたちに参画して欲しい。

アクター: 諸岡美咲、草郷紗麗、川口彩夏、竹内海羽、百崎佑、川本森也



◆8月1日

現場を下見。中川ルネッサンスプロジェクトの会議に出席。アイデアを出し合うことになった。

◆8月24日

中川ルネッサンスプロジェクトの会議に出席。アクターが出したアイデアは、階段や歩道にだまし絵を書く、という案などを検討してもらうことになった。

◆11月9日

「中川ふれあいフェスタ」イベント当日に中川駅前のまちづくりに関するアンケート調査を行った。この日はもともと参加していないアクターも参加した。

⑧ 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 企画事業部

ミッション：10月12日にコンカード横浜で行う弦のカルテットのコンサートのプロデュース。その活動を通して神奈川フィルのファンを増やす。

アクター：小林恵人、花岡直幸、竹内海羽、草郷紗麗



◆8月7日

神奈川フィル事務局と打ち合わせ。10月に行われる弦楽四重奏の演奏会のプロデュースをやってみてと依頼された。そのために、神奈川フィルのコンサートやリハーサルを見学させてもらった。

◆9月10日

まずはアイデアをもちより議論。一緒に歌えるような子ども向けの楽曲の選択や、かなフィルのキャラクターである、ブルーダルの関連グッズを使った装飾、お誕生日の人に曲をプレゼントするという企画、オーケストラの楽器を人気投票する「かなフィル選抜総選挙」などのアイデア、さらにユーストリーム中継などの盛りだくさんのアイデア

がでた。かなフィル事務局からは「全部やってみて」と言われ、アクターたちで集まり検討することになった。

◆9月21日

装飾のための準備や、誕生日の人にプレゼントするメダルの制作、かなフィル選抜総選挙の投票のための準備などをアクターで集まり、準備した。

◆10月3日

司会進行などもふくめ、最終打ち合わせを行った。

◆10月12日

イベント本番。はやめに入って会場設営の準備を行い、当日は司会、選挙の投票、グッズの販売などを行った。

⑨ ライフ&シニアハウス港北

ミッション：地域の方と老人ホームの人たちとの交流促進。

アクター：百崎佑、矢野颯人、草郷紗麗



◆8月8日

まずは老人ホームの説明と見学をさせてもらい、お祭りの企画のアイデアを出すことになった。

◆8月31日

明るく悩みに子どもアクターが答える「大人の悩み相談室」やコスチュームをつけて、大きな絵をバックに写真をとってあげる「なりきり写真館」などの企画を実現させることが決まった。

◆9月28日

イベント本番。多くの老人ホームの入居者とその家族。近隣の方たちが訪れ、アクターの企画を喜んでくれた。

⑩ NPO 法人シャーロックホームズ

魅力のあるブースづくりや、子ども自身(特に女の子)が「わたしのからだ」のことを意識する機会創出のためのアイデア。

ミッション:親子が立ち寄ってくれる

アクター:加治満理奈、矢野淳奈



◆8月3日

シャーロックホームズの施設を訪ねて、女性のココロとカラダをテーマにしたイベント「ココカラリオーネ」の内容について詳しく聞き、企画についてアイデアを出し合った。

◆8月24日(25日)

日本大通りで行われる、イベントで、「大人の悩み相談室」と「大人の記憶力テスト」を子どもたちが遊んでいる間に体験していただいた。24日は人がすくなく、25日に期待されたが、25日は台風でかなりきびしい状態だったため、イベント参加は中止となってしまった。

(6) 成果報告フォーラムの概要

① 準備会議

2013年11月24日(日)10時～11時半

場所:ヨコハマ創造都市センター地下1階

アクター10名出席

今回は活動の途中での会議がなかったため、お互いの活動について発表したり、成功したことや、問題点を書き出して、発表に備えた。

② 成果発表会の概要

2013 特命子ども地域アクター成果発表会

「青少年をまちづくりに巻き込むとなにが起こるか」

～子ども VS おとな 円卓会議

2013年12月15日(日)

10時～準備。13時～15時本番

16時まで交流タイム

場所:神奈川県庁本庁舎大会議場

アクター19名全員参加。まちづくり団体は9団体が参加した。



コメンテーターとして、推進会議メンバー(神奈川県県民局次世代育成部青少年課、NPO 法人横浜プランナーズネットワーク、NPO 法人シャーロックホームズ、リスト株式会社、NPO 法人ミニシティ・プラス)もテーブルについた。

議事録は別途資料。派遣されたアクターと受け入れた団体の忌憚のないトークを行った。

当日は神奈川県庁舎が一般公開されており、見学で通りかかった方たちも傍聴された。

3.特命こども地域アクター成果発表会 記録 (2013/12/15 神奈川県庁本庁舎 大会議場)



参加者

●司会…岩室晶子

●特命子ども地域アクター …18名

川口彩夏 草郷紗麗 竹内海羽 百崎佑、直枝遼菜、高崎基 森本大樹、鈴木海、和田峻也、矢野颯人、
諸岡美咲、花岡 直幸、矢野淳奈、黒山幹太、石井真央、加治満理奈、小林恵人、川本森也

●派遣先団体 …9 団体

NPO法人 Love つづき 川本久美子氏

荏田南近隣センター商店会 内野敦氏

一般社団法人横浜みなとみらい21 岩松一郎氏

都筑クラブ 山田美千子氏

NPO 法人夢キューブ 高橋 純子氏

NPO 法人都筑民家園管理運営委員会 木村格氏

中川ルネッサンスプロジェクト 塩入広中氏

神奈川フィルハーモニー管弦楽団企画事業部 田賀浩一氏

NPO 法人シャーロックホームズ 東恵子氏(推進会議メンバーでもある)

(欠席:ライフ&シニアハウス港北)

●推進会議…

NPO 法人横浜プランナーズネットワーク 山路清貴氏

神奈川県県民局次世代育成部青少年課 平野真理子氏

リスト株式会社 松本紀明氏

NPO 法人シャーロック・ホームズ 東恵子氏

NPO 法人ミニシティ・プラス 三輪律江氏

派遣先である団体と、そこに派遣された特命子ども地域アクターのやりとりを中心に、青少年をまちづくりに派遣したことでなにが起こったか？この取り組みの意義や効果について話しあった。



神奈川フィルハーモニー管弦楽団

(神奈フィル)子どもたちに文化芸術に興味を持ってもらいたいと思っている。

アクターからは「神奈フィル総選挙」などの案が出た。しかし今回の企画ももう少し早くできていたらもっと色々できたと思う。今回参加したアクターは小学生と中学生だったが、高校生や大学生にも参加してもらって情操教育に力を入れていきたい。



大学生のインターンはあるが、小中学生と一緒に企画運営したのは初めて。

(司会)アクターたちが出した案を神奈フィル事務局は、ほとんど吸収してくれたが、どのような思いでアクターの案を採用したのか？

(神奈フィル)子どもたちが出した案をできないと決めつけるの

ではなく、いろいろなことを取り入れ、刺激を受け神奈フィルを発信していきたい。

(司会)メダルの作成をした竹内さんは、企画を考えて、どうだった？

(竹内)お誕生日の人にプレゼントする、メダルを作った。丸型や星形だけでなく、ブルーダル型のメダルも作ったら評判が良く、よるこんでもらえてうれしかった。

(小林)オーケストラの楽器の選抜総選挙は 1807 票とすごく集まった。順位は 3 位指揮者、2 位ハーブ、1 位サクソスだった。

(神奈フィル)サクソスはオーケストラに入ることもあるが、常駐はしていない。

(小林)なぜサクソスが人気だったのかはわからないが、(オーケストラメンバーには、いないので)選挙の写真は自分が写っているものを使った。



～ここで百崎くんの編集した当日のコンサートのビデオを上映した～

(司会)百崎君が作った、イベントの映像はどうでしたか？

(神奈フィル)とても良かったけど、一曲くらい演奏しているところがあってもよかったかな。

(百崎)アクターの活動がメインになるように作った映像だったが演奏も入るように作り直そうと思う。コンサートは、人が少ない通りでやったイベントなのに本番にはお客さんがたくさん来てびっくりした。音楽の力ってすごいと思った。

(神奈フィル)ホール以外での演奏もすることで、多くの人に音楽に触れてほしい。

外でやることの醍醐味は、「お客様の視線にたって演奏できる」「演奏後に話ができる」「お客様の表情が間近に見られる」こと。

都筑民家園



(民家園)私たちはどうしたらいろんな人に民家園や遺跡公園に来てもらえるかを考えている。昨年もアクターを受け入れた。今回は2年目だか、アクターと私たちが打ち合わせするとき、去年だったら「何をやろうか？」というところからだったが、今回はすでに企画が決まっていたので、アクターの意見をあまり聞くことが出来なかったのが反省点。子どもの社会性を育てていこうという目標にあまり目を向けることが出来ず、

アクターを迎え入れる準備が整わなかった。子どもの社会性を育てるには大人も準備が必要であると感じた。今度はもっと子どもと大人で協力してできるようにしたい。

(司会)これは民家園だけでなく、事務局側の責任でもある。アクターがどういうものであるのかを、民家園のみなさん全員にわかりやすく、伝えなければならなかった。去年は民家園のイベントが悪天候のため、延期になったこともあり、今回は成功させたいという思いが強かったのでイベント自体に力を

過ぎすぎたのかもしれない。

(高崎)最初からやることが決まっていたので自分の意見があまり言えなかった。でも、自分から発言しようと思えばできたはず。

(民家園)同日にほかにもイベントをやっていて忙しかったこともあり、より工夫をしなくてはいけなかった。ちょっと強引になってしまったところもあった。企画を練る時間がもう少しほしかった。みんなの学校の都合もあり、全員がそろうのは無理でも、数回に分けて打ち合わせをするなどが出来れば良かった。

(司会)川本君は家が民家園から近いけど、民家園のイベントはどう思う？

(川本)以前、民家園のイベントに行って勾玉を作る体験をしたことがある。割と小さい子どもが多く参加していたのが印象的。

(司会)中高生にも来てもらいたいね。

(民家園)ぜひ中高生にも来てほしい。弓を作るだけでなく、もっといろいろなことを考えていきたい。歴史のある場所で、アートをやることで魅力を発信していきたい。

(司会)そういえば、夜に遺跡公園にいったら、ベンチはカップルでいっぱいだったことがある。



(民家園)それはしらなかった・・・

(司会)和田君は家が遠いけども民家園に行ってみてどうだった？

(和田)戸塚(地元)の自分の家の近くではあまり自然を感じることが出来ないの、民家園の自然が豊かなところがよいと思った。ゆっくりと時間を過ごせるところだと思う。ここに住んでみたい。



中川ルネッサンスプロジェクト



(諸岡)中川のまち歩きをして、1回歩いただけでも街の魅力が伝わってきた。私の地元ではまちづくりにあまり積極的ではないので、中川の方が積極的でうらやましい。アンケートを街の人に取らせてもらったが、初対面なのに話が弾み、幅広い年代の方と触れ合うことが出来て良かった。

(司会)でもそのアンケート内容に不満もあったんだよね？

(諸岡)「階段の手すりに子どもたちが描いた絵を飾るのはどうか？」という問いに対して、アクターとして、絵を飾るだけでは人は来ないのでは？と思ったのでアンケートにその問いを入れないほうがよいと思った。その点では中川ルネッサンスの方たちと意見が食い違っていた。

(司会)子どもたちの意見を団体がダイレクトに受け入れるのはやはり難しいのでは？

(NRP) いろいろな視点からの意見を聞くべきと考えている。歩道橋の手すりに絵を展示する企画は、中川西中の美術



担当の先生にも意見をお聞きしたところ、展示する側として実施上の問題が多く、積極的な希望が無いことが分かり、歩道橋上にギャラリーを作ることは中止にした。結論はアクターの意見と同じになった。子どもたちの視点が新鮮ですばらしいことはたくさんある。ただ具体的提案まで検討をする必要がある。アクターから歩道橋の階段に絵画を描き、人を誘導する具体的な提案があり、これは実施することが決まった。

(司会)アクターを受け入れてみて、まちづくりに小中高大学生が入っていくのは、問題ないことなのだろうか？



(NRP)子どもたちの代表イコール、アクターだと思って接し、アクターの意見を受け止めた。アクターの意見がよいとかよくないと決めつけず、すぐ結果が出るのを求めるのではなく、長期の結果を求めることが大事だと思う。

(司会)アクターからも参加する期間が短いという声が出ているので期間の見直しもしていきたい。

(川口)商店街に人が少なくて寂しい感じがした。どうすれば人が来てくれるか、アイデアをなかなか出すことが出来なかったのが残念。

(司会)自宅は中川に近いよね？いつでも意見を言いに行ったらいいと思うよ。

都筑クラブ

(司会)川本くん、都筑クラブのチラシ作りはどうだった？



(川本)アクターに応募して活躍しようと思ったが、高3(受験)で実際にはあまり活動に参加できなかった。チラシ作りしか参加できなかったが、祭りの雰囲気を出せるように色をたくさんつけて作成した。

(司会)ほとんど自分で考えたデザインなんだよね？

(都筑クラブ)昨年のも(大人がつくった)と比べると今年のチラシはすごく良い！今回のすきっぷ広場のイベントは高齢

者も楽しめるように盆踊りを行った。

(直枝)イベントの準備から手伝った。すきっぷ広場の壁に A4 のチラシを大人がガムテープで張っていた。せっかくのイベント会場の見栄えも悪いし、終わったあとはがしにくいと感じた。

やめてほしい。

(都筑クラブ)大人がそんな風に貼っていたなんて…みんなにも言っておきます。

(司会)やぐらの評判はどうだった？

(百崎)登ってみたら高くってパニックだったけど、効果はあったと思う。設置の予算とかはどうだったのかということは問題があるのかもしれないけど…

(司会)みんな、あらめや音頭を覚えてくれたんじゃないかな？



桂田南近隣センター商店会(えだきん)

(司会)えだきんでのアクターはいかがでしたか？



(えだきん)商店街とアクターで情報共有がうまくできなかった。商店街側も一人でイベントのことを抱え込みすぎてしまっており、情報共有があまりできていなかった。もっと活動を活発にしたい。

(百崎)イベントに客として行って見て思ったのは、商店街なのだから、イベントを通じてお客さんに自分の店のことを知ってもら

のが狙いのはず。しかし、一部だけががんばっている感じがした。

せっかくだし、イベント会場の周りにもっと商店街の多くの店が参加してくれたら盛り上がったのかもしれない。

(えだきん)店の営業もしながらだと、難しいこともあるので今はこの形態でスタートして今後はもっと派手なイベントにしていきたい。

(百崎)商店街のイベントの回数は減らして一つ一つのイベントを大切に！店の名前を売ることに力を入れるのがよいのでは？

(えだきん)今後の参考にします。



横浜みなとみらい 21

(花岡)夜のイベントだったので割と若者が多かった。

(矢野淳奈)事前準備のみの参加だったが、自分の意見はしっかりと言えたと思う。

(司会)イベントに使う、光の箱「キャリーミー」は自分で作ったの？



(矢野淳奈)厚手のトレーシングペーパーで作った。光る箱を持つことで自分自身も照明になった。

(司会)石井さんはみなとみらいには良く行くの？

(石井)時々行く。赤レンガ倉庫が好き。大さん橋なども好きで、特に夜景が好き。



(司会)イベント当日はどうだった？

(石井)当日は写真係を担当した。お客さんの呼び込みをして、お客さんに「なんの活動？」と聞かれても、アクターの説明が難しく、戸惑った。

(MM21)30周年事業との関係でうまく対応できなかった部分もあったと思う。MMは子どもが住むことを考えずに作られたまちなので、子どもの遊び場がない。今後は子どもの視点も取り入れたまちづくりをしていきたい。子どものことを考えたま



ちづくりをする際にはアクターの力をぜひともお借りたい。

(司会)子どもの住むまちとしての視点をアクターから何か提案できたら良いね。



(黒山)自分は高2。無邪気な子どもではないので素直さに欠けている。「大人は、ルールにのっとって、敷かれたレールの上で生きていくもの」と考えるが、自分はどちらかという大人に近いポジションにある。そのため。出された意見に対して「ああ、そっか」となってしまう、自分で意見をあまり言えなかったのが心残り。

(司会)大人な意見もウェルカムだよ！

夢キューブ



(加治)当日は人がいっぱい来た。各高校の控室に行ってお昼ご飯を渡したり、パンフレットにポストイットはったり、チラシに折り込んだりする作業を行った。

(司会)運営側のスタッフは少ない感じがした？

(加治)もう少しスタッフがほしいと感じた。

(奥津・学生スタッフ)足柄に親戚が住んでいるので、足柄には詳しくスタッフとして参加した。足柄はとても良いところ。でもアクターの子たちはたった1日足柄に行っただけでは足柄の魅力にあまり触れられないかもしれないと感じた。

(司会)今後はどういうことをしたらいいと思う？

(加治)1市5町の足柄は市町全体で「足柄」と意識していると思う。まずはアートだけをアピールするのではなく、足柄全体をアピールしてくべきだと思う。



Love つづき

(I Love つづきは台風のためイベントが飛んでしまい、あまり活動できなかった。)

(I Love)まちづくりは行政が導入してくるコンサルタントによって行われることも多い。実際のプロジェクトを進める中で本当にこの人たちはまちのことを分かっているのか、とってしまうことがある。まちを理解するためのフィールドワークとかは時間がかかるもの。アクターの子たちにもこのまちづくりのプロセスを知ってもらうのはよかったと思う。まちをつくるのは老若男女関係



ない。おせっかいできる人が増えるとまちは良くなる。子どもたちとおせっかいプロジェクトみたいなものもやってみたい。

シャーロック・ホームズ

(司会)シャーロックさんでは、アクターの受け入れはどうでしたか？推進会議メンバーの立場からお話ください。



(シャーロック)大人側が子どもとまちづくりすることの理解をしなくてはならない。子どもと接する機会の少ない団体はアクターと協力することが大変だったと思う。アクターはただのお手伝いじゃなくて、一緒にアイデアを出しながら進めていくものであることは受け入れ側にとって負担になる。そこをいかに解消できるかが大事な点。こどもが意見を出しやすい場にも、大人側が意識しなくてはならない。継続的に関わり、かつ参加者を増やし、先輩アクターが後輩を育てられるようになることが望ましい。そうすることでまちづくり事業がより良くなると思う。

参加した学生スタッフ



(井上)子どもたちはすごくパワフル！大人が考えるアイデアは堅いものが多いので、子どもたちの斬新な案に驚かされた。

(高柳)アクターが楽しそうに活動していたのが印象的。無意識に地域に貢献でできることを行えているのがすごいと思った。自分自身も成長できた。



推進会議メンバー

(山路) アクターは、団体や地域の方にない素質を持っている。アーティストなのではないか。たとえば、いいチラシをつくったり、まちの中にガムテープを貼って汚くしないでほしいなどという意見はアーティストの発想。アクターが関わっていくことで、まちや催しがクリエイティブになる。それは彼らが普通の大人と比べて、より「自然」な完成を持つ存在だからだと思う。



思う。

(松本) 今回の報告会では去年よりも要望、不満が目についた。これは進歩なのでは。

今後やっていくには何が必要なかを話し合えることは重要。



(平野) 県としては、今後もアクターの事業を続けていきたい。学校外での活動ができることは価値がある。今後もアクターを増やしていき、広げていきたい。子どもたちにとって、学校以外での活動ができることには価値があり、県としても今度もアクターの事業を続けていきたいと思っている。

(三輪) 今回の成果報告会ではまるで、子どもがやるとは思えない質の高い議論が出来たと思う。



「アクター」という名前を付けた経緯は「市民」のまちづくり。「子ども」はお客さんとして見られがち。また、



子どもに何かしてもらおう、とはあまりならない。子どもの立場を明確にしたいと「特命子ども地域アクター」と名づけた。

まちづくりの現場に子どもが入ることにより、大人の側に変化が見えた。

子どもたちには、大人が思っている以上に、本質的なことを伝えることが重要。課題をいかに共有していくか？それらはタイムスケジュールの問題(短い)もある。

地域の問題をオブラートに包む・割愛する必要はないのだと、大人が思える機会となった。

また、ネイティブの人ではなく、外からの人の意見がまちづくりには必要だといわれる。さらにそれが子どもたちだと新鮮。アクターは「風の人」だと思う。「よそから入ってくる」ということと「子どもの視点」という2つの意味で風の人であると思う。風の人には外からの見え方をよく伝えることが出来る。

大人に子どもの可能性に気付いてもらい、アクター以外の子どもたちも積極的にまちづくりに関わってもらいたい。子どもが自分の地域のことに関わり、土の人になっていけるようなスキームにしていけたらよいと思う。アクターの将来に期待したい。来年以降の意欲も感じられて良かった。

(まとめ:渡辺・岡庭)

特命子ども地域アクタープロジェクト／

「まちづくり」のいろは講座ーまちづくりとはなにかを学んでみよう【概要】

最近よく耳にする「まちづくり」、誰がどんなきっかけでどんなことをしているのでしょうか。本講座ではまちづくりとはなにか、なぜまちづくり活動が必要なのかといった基礎学習と共に、様々なまちづくり活動が活発な横浜の事例からまちづくり活動の真髓にせまります。

開催場所

第1回 6月22日(土) 13時半～16時 @ヨコハマ創造都市センター地下1階

まちづくりとはなにか ～都市づくり・まちづくり・ひとづくり～

担当：横浜市立大学 まちづくりコース 三輪律江

13時半～14時 アクター事業の説明・入学式

14時～15時 講座「まちづくりとはなにか」

15時15分～16時 ワークショップ「イメージマップから記憶に残るまちを考える」

※ワークショップでは自分の住んでいる家ー学校間のイメージマップを書いてもらい、それを基に、記憶に残っているまちの要素などについて意見出しと理解を深める。

第2回 7月6日(土) 13時～おおよそ17時 @馬車道～関内～日本大通り～山下公園

まちづくりの現場を歩こう

担当：横浜市立大学 まちづくりコース教員4名

内容：横浜市立大学まちづくりコース2年の授業で行われる45名(7～8人×6グループ)のまちあるきに同行し、普段とは違った視点で、関内～馬車道といった開港のまちヨコハマを巡ります。
おおよその流れ：集合は13時にYCCセンター。その後、アクターも6グループに分かれ、13時15分に合流した学生グループと一緒に街歩きを行う。17時前後に山下公園で現地解散。

※事前に大学生と同じ地図を配布します。それを持ちながら、学生から説明を聞いたり、「気に入ったポイントとその理由」「あまり気持ちよいと感じなかったポイントとその理由」「意外な発見だったポイント」等について、記録をしながらあるきます。

第3回 7月15日(月・祝) 13時～17時 @ヨコハマ創造都市センター3階

(仮) これからのまちづくりを考えよう

担当：横浜市立大学 まちづくりコース 鈴木伸治先生

13時～13時半 ワークショップ「まちを歩いて気付いたヨコハマのまち」

14時～14時半 講座「関内・関外のまちづくり」

14時45分～17時 まちづくり現場とのお見合い会

※ワークショップでは7月6日に歩いた印象を基に大地図上に評価をプロット。それを後半の講座でのネタとする。

特命子ども地域アクターの声

まちにでると
自分も変わる！



受け入れ団体の声

こどもの力を
まちに活かせる！



ティーンがまちをつくる

特命 **子ども** 地域アクタープロジェクト 2013年度 成果報告書

【かながわ子どもの地域社会参画推進会議】

NPO法人ミニシティ・プラス（事務局）-----> 問合せ：minicityplus@gmail.com
神奈川県県民局青少年部青少年課 Tel&Fax 045-306-9004
NPO法人横浜プランナーズネットワーク 224-0001
NPO法人アクションポート横浜 横浜市都筑区中川1-4-1-107
NPO法人シャーロックホームズ
リスト株式会社